



BB-X
TECHNIUM Mg
4000D/5000

取扱説明書

SHIMANO

シマノ BB-X TECHNIUM Mg 4000D・5000 取扱説明書 目次

このたびは、SR (S-Reliance) で進化した、超軽量・ハイレスポンスのBB-X TECHNIUM Mgシリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

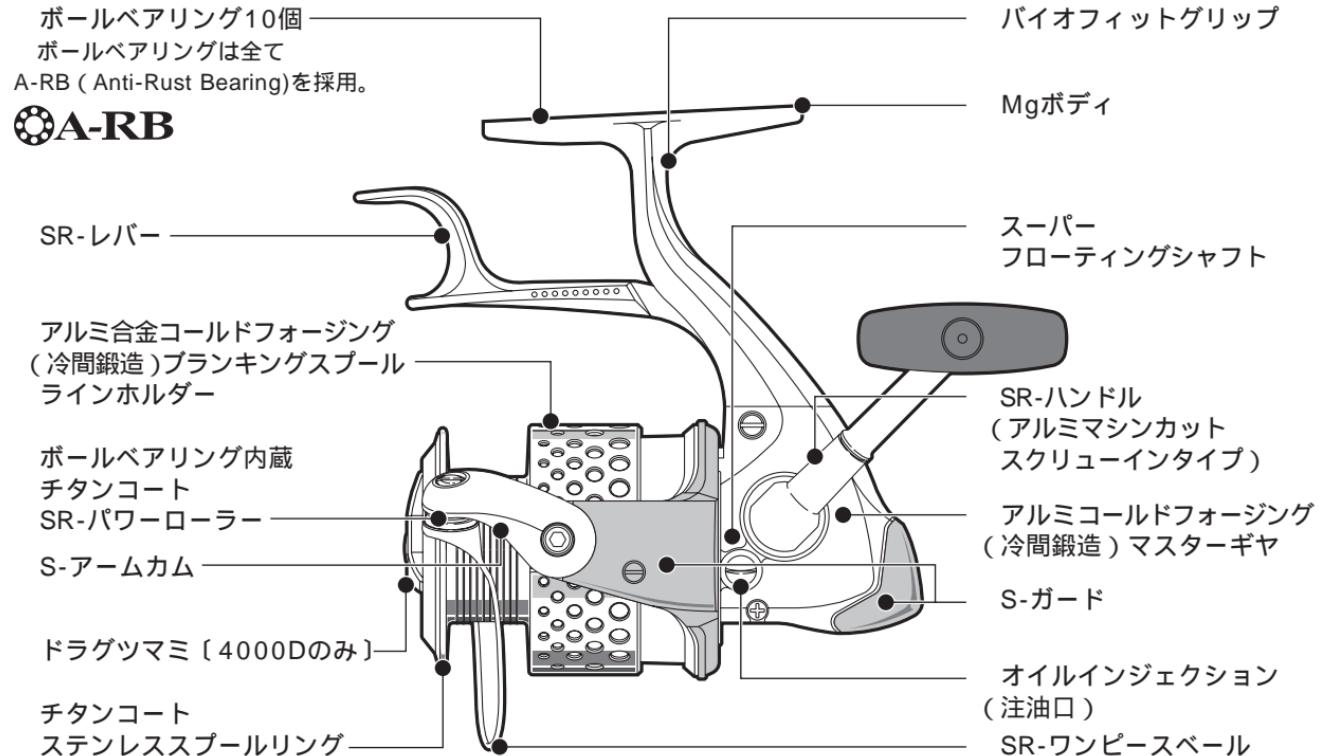
BB-X TECHNIUM Mgシリーズは、磯・上物釣りでダイレクトな魚とのやりとりを可能にするレバーブレーキに、人差し指1本で瞬時のストッパー操作を実現したSR-レバーを採用。スーパーSHIPによって引き出された回転性能をより長く維持するために、オイルインジェクションによりメンテナンスを容易にし、シマノ独自の耐蝕性を飛躍的に高めたボールベアリング・A-RB (Anti-Rust Bearing) を採用しました。

ボディに超軽量マグネシウムを、ペールアームにはステンレス一体型のSR-ワンピースペールなど、数多くの先進メカニズムを採用しました。最高級スピニンググリールとしての高品質と高基本機能を極限まで充実させています。

BB-X TECHNIUM Mgシリーズの機能をフルに引き出し、未永くご愛用いただくためにも、使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、リール同様大切に保存してくださるようお願い申し上げます。

シマノ BB-X TECHNIUM Mg 4000D・5000 取扱説明書 目次	2
各部の名称	3
仕様	4
SR-レバーの操作	5
ドラグの調整方法	5
数々の機能・装備	6
保管上のご注意 / メンテナンスの方法 (オイルインジェクションで簡単・安心)	15
BB-X TECHNIUM Mg リールのお取扱い上のご注意	18
安全上のご注意	20
シマノ全国サービスネット	20

各部の名称



ドラグ付きモデル(4000D)のイラストで説明しています。

仕様

品番	商品コード 製品コード	ギヤ比	実用 ブレーキ力 (N/kg)	実用 ドラグ力 (N/kg)	許容 耐力 (N/kg)	自重 (g)	糸巻量 (号-m)	ペアリング (ポール/ローラー)	スプール寸法 (径mm / ストロークmm)	最大巻上速度 (cm / ハンドル1回転)
BB-X TECHNIUM Mg 4000D	02054 SD18J040	5.8	-	78.4/8	-	265	3-200 4-150 5-110	10/0	49 / 17	89
BB-X TECHNIUM Mg 5000	02055 SD18K050	5.8	127.4/13	-	147.0/ 15	255	4-200 5-150 6-120	10/0	49 / 17	89

標準付属品：

取扱説明書・分解図・専用袋・リールシートスペーサー（2枚）・下巻きライングージ・ライン号数シール・
ワンタッチハンドル固定ベルト・スプール着脱レンチ（ドラグ無しモデルのみ）・
スプール調整ワッシャー（ドラグ付モデルのみ）・脚裏保護シール

ポールペアリングはシマノ独自の表面処理により防錆効果を飛躍的に高めた「A-RB（Anti-Rust Bearing）」を採用しています。

SR-レバーの操作

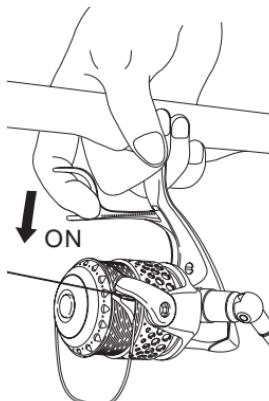
SR-レバー

「押してON、引いてOFF」

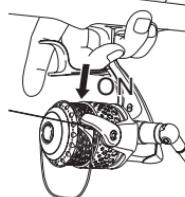
魚とのやりとりは、逆転をレバーブレーキでコントロールするのが基本です。とはいっても、エサの付けかえ時などには、不意に逆転することで糸フケが生じ、絡みなどのトラブルを起こしやすいもの。

そんな時は1.2.の要領でセーフティーストッパーをONにすれば、ローターの逆転にブレーキが働き、無用な糸の送り出しを防ぐことができます。たとえセーフティーストッパーがONになったままでも、ブレーキレバーを握ることで瞬時に解除されます。

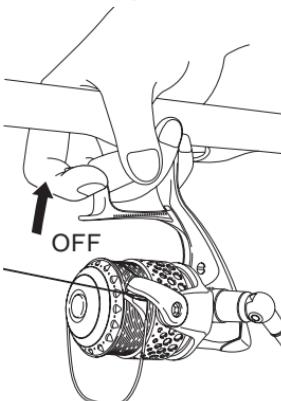
1.人差指によるセーフティーストッパーのON



2.中指で押してもセーフティーストッパーはON



3.ブレーキレバーを握れば瞬時にOFF



ドラグの調整方法

ドラグ付きの4000Dのみ

ドラグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

1. 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通してください。



2. SR-レバーを引きつけ、しっかりとブレーキのかかった状態で、図のように糸を引き出しながら、ドラグツマミの締めつけを調節してください。ドラグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。

3. 通常は糸切れを起こす寸前の力でスプールが空転し、糸が出ていくように調節してください。また遠投などする時は、必ずドラグをよく締めつけてから投げるようにしてください。ドラグが滑って糸で手を傷つけることがあります。

根がかりを切るときのように完全にロックする必要がある場合には、スプール・ローターを握り込むなどで、直接スプール・ローターの回転を制止する必要があります。

数々の機能・装備

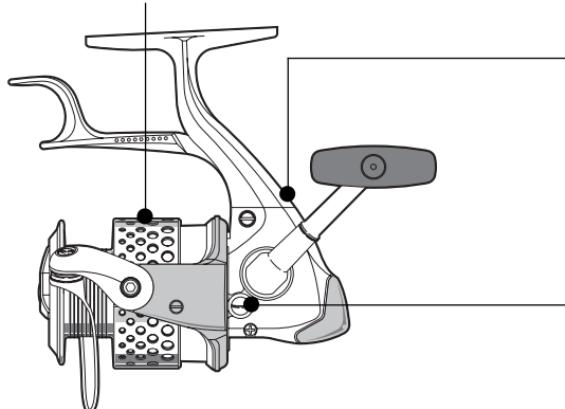


【S-Reliance】

...SMOOTH・SILENT・STRONGを追求するために
集結された独自の機構の数々。

アルミ合金コールドフォージング (冷間鍛造)スプール

強度と軽さに優れたアルミ合金冷間鍛造スプールをマシンカット。
徹底したプランニングと相まって精度と軽さを両立しました。



A-RB (Anti-Rust Bearing)

ボールベアリング全てに、シマノ独自の驚異的な耐蝕性を持つ
A-RB (Anti-Rust Bearing) を採用。海水の影響を受けても
錆を寄せつけません。

超軽量マグネシウムボディ

シマノ独自の特殊表面処理を施すことで海水での使用を可能にし、
超軽量の特長を最大限に引き出しました。
未永くご使用いただくために、「お取り扱い上のご注意」
「保管上のご注意」の項目をよくご覧ください。

オイルインジェクション

オーバーホールすることなく、駆動部の要所に直接注油（グリスアップ）を可能にすることで、リールのコンディションと寿命をキープすることができます。実際の手順はメンテナンスの方法（15～17ページ）をご覧下さい。

スーパー・シップ

Super
SHIP

SMOOTH & HIGH POWER SYSTEM

スムース&ハイパワーシステムとは…

従来のSHIPにさらに磨きをかけたSUPER SHIPは、よりパワフルで敏感な巻き上げ、軽く超スムースな回転を実現したシステムです。

歯の形状を徹底的に研究し開発した大口径マスターギヤを搭載しました。そして独自のカタチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。

アルミコールドフォージング(冷間鍛造)マスターギヤ

アルミをコールドフォージング(冷間鍛造)した高精度で耐久性に優れたマスターギヤ。大口径から生まれるゆとりがパワーを発揮します。

スーパー・フローティングシャフト

ハイパワーのポイントとなるスーパー・フローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたスプール軸とピニオンギヤの関係にスプール軸を支えるペアリングを組み込むことにより、摩擦を大きく軽減しています。

SR-ワンピースペール

わずかな段差も排除して、強度、糸さばきに優れたステンレス一体成型のワンピースペールです。

SR-ハンドル(アルミマシンカットスクリューインタイプ)
ハンドルを、マスターギアに直接ねじ込んで固定することで使用時ののがたつきを排除します。

POSITIVE BAIL

ポジティブペール

ペールを開くとカチッというクリック音がしてペール操作がスピーディに正確に行えます。

S-アームカム

糸がらみを防ぐ三次元曲面で構成されています。

又、アームカム内側はラインスラックを最小限にとどめる形状にすることにより、ラインがアームカムから脱落するトラブルを軽減しています。

S-ガード

ローター・ボディの金属本体を傷などのダメージから守ります。

S-ローター

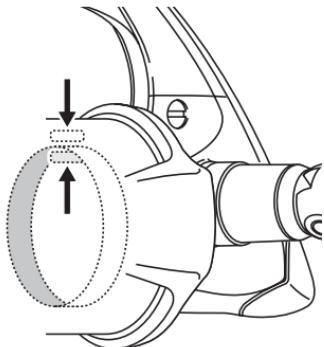
コンパクトで糸がらみを防ぐ形状で構成されています。又、剛性を確保しつつ徹底的な軽量化を図っています。

チタンコーティングステンレススプールリング

HYPER W BRAKE システム採用

従来はレバーを引くとローター内のブレーキコアの下方向から、ブレーキシューが押し上げる形でブレーキをかけていましたが、テクニウム4000、5000はブレーキコアの上下両方向からブレーキコアを挟み込む方式のHYPER W BRAKEを採用しました。

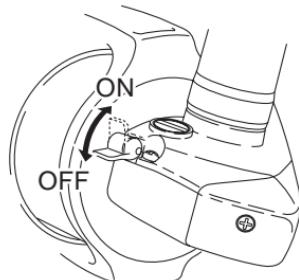
これにより、ブレーキ力、ブレーキ耐久性の大幅アップを実現しました。



ゼロフケテンションレバー

ゼロフケテンションレバーをONにすることにより、逆転時のフリーに微妙なテンションをかけることができます。（テンションはハンドルの重さで逆転しない程度のものです。）ストップーフリー時点で糸フケが出てトラブルが出る場合、風が強く糸フケが出やすい時、また手元が暗くて見にくい時、レバーをONにして使用して頂くとトラブルを減少することができます。尚、逆転時のフリー回転を重視する場合にはOFFでご使用ください。

ご注意：ゼロフケテンションレバーをONの状態にしますと、逆転時に多少ブレーキをかけるために小さな音がすることがありますが、これは正常な状態です。



SR-パワーローラー

竿の穂先やガイドへの糸ガラミなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻きとる時に生じます。

そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻きとる時、テンションの強弱にも安定して糸のヨレを解消する新開発「SR-パワーローラー」を採用。ライントラブルの減少を図りました。（当社比、基準による）

糸ヨレについて

次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。

もともと糸がヨレている時。

シカケが回転して、ヨリをかけている時。

新しい糸を巻くおり、巻き方が不適切だった時。

非常に軽いシカケの巻きとりでローラーが回転しない時。

シカケを投げた直後の糸フケを巻きとる時。

その他、糸にテンションがかからず、ローラーが回転しない時。

ハンドルの折りたたみ方法

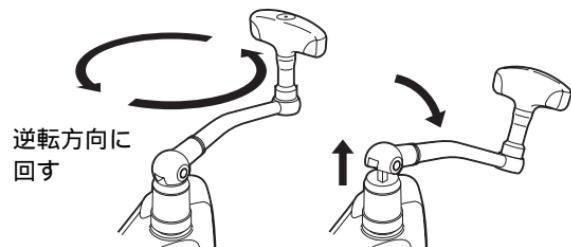
ハンドルはネジ込み式になっています。

たたむ時は回転枠が回らないように保持し、ハンドルを数回逆転方向に回転させ、ハンドル軸をやや引き出し、ニギリ側に倒してください。のばす時はたたむ時と逆にします。

（図は右手巻の場合です。）

この時ハンドルを緩め過ぎますと、本体より抜け落ちますのでご注意ください。

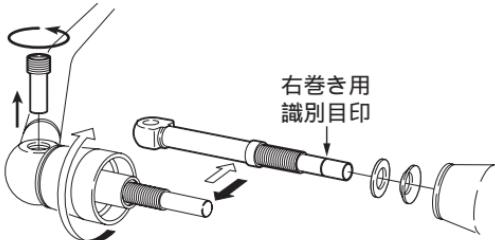
工場出荷時に、ハンドルと軸ツバの間に傷付き防止用のスペーサーをはめています。実釣時には、はずしてお使いください。



ハンドルの左右付け替え方法

下記の要領でハンドル軸の交換を行ってください。
工場出荷時のハンドル組は左巻き専用になっています。右巻き
にする場合は以下の要領にて組み替えた後、本体にねじ込んで
ください。

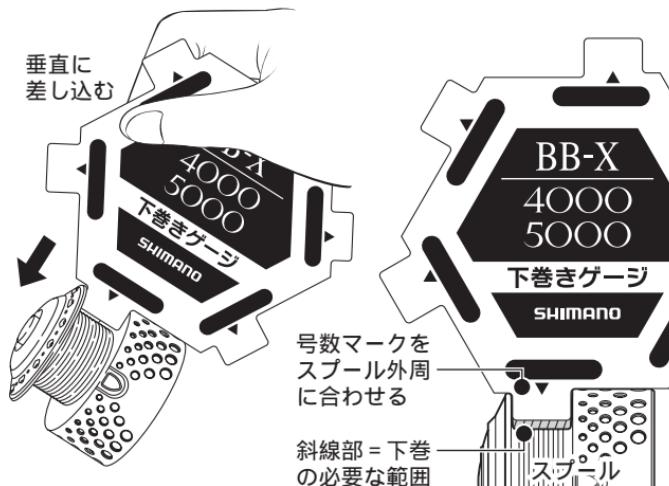
1. ハンドル軸ツバを時計まわりに回してはずします。
この時、ゆるみ止めワッシャーをなくさない様注意して
ください。
2. ハンドル根元のボルトをゆるめてはずし、付属の右巻き
用ハンドル軸と入れ替えます。
3. 逆の手順で組み立てます。
この時、ゆるみ止めワッシャーの向きと順番を間違えない様注意して
ください。



下巻きラインゲージの使用方法

付属の下巻きラインゲージを使うことで、好みの太さの糸を選んで巻くときに、どこまで下巻きが必要なのかを簡単に知ることができます。それぞれの機種に、最も組み合わせることの多い6種類のパターンを用意しました。4号-150m、6号-100m用は5000専用です。

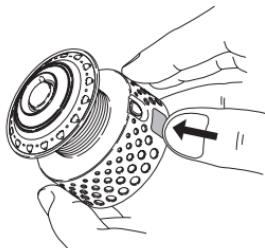
1. 下図のように付属のゲージをスプールに垂直に差込み、
号数マークをスプールの外周に合わせます。
2. スプールとゲージの間にできたすき間（図の斜線部）が下巻
をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。



ライン号数シールの使用方法

付属のライン号数シールをスプールに貼ってお使い下さい。

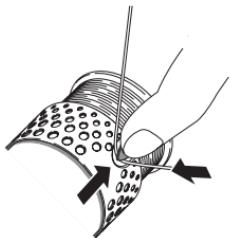
貼る前にスプールの汚れ、水分、油分を拭き取って下さい。



ラインホルダー

とめ方

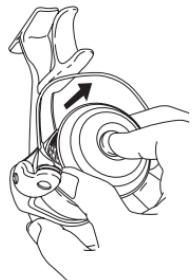
人差し指の爪をラインホルダーに引っかけ、爪の上に糸をすべらせてガイドしながらラインホルダーに糸を引っかけてください。



スプールの着脱方法

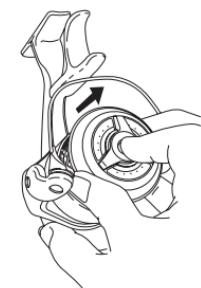
取りはずし

右図（4000Dの場合は右下図）のように、人差し指でプッシュボタンを押しながらスプールを引いてください。



取りつけ

スプールを取りつける時は、スプールをゆっくり回しながらカチッと音がするまで押し込みます。確実に装着できたか、一度引っ張ってはづれないか確認してください。



替えスプールについて

替えスプールはサービスパーツで取り扱っています。お買い上げの販売店にご注文ください。

ワンタッチスプール取り外しでのご注意（4000Dの場合）
ドラグツマミを緩めておりますと、プッシュボタンを押してのワンタッチ取り外しがしにくことがあります。
その場合はドラグツマミを締め、スプールを本体側に押し付けながらプッシュボタンを押すことで外しやすくなります。

糸巻き形状の調整方法

図1 のようにほぼ平行に巻き上がる場合は必要ありません。

糸巻き形状は、右図のように糸の巻かれた面が平行で、上下にすき間のない状態がライントラブルの防止、放出抵抗の低減に有利です。それぞれの機種に150mぴったり巻ける表示の太さの糸でこの状態になるよう設計がされています。それより細い糸を巻く程前よりに、太くなる程後ろにより巻き上がる傾向があります。図2 図3 のように大きく変型して巻き上がる場合は、以下の手順で調整することをお勧めします。

《ドラグ無しの5000の手順》

ドラグ付き機種は次ページ《ドラグ付きの4000Dの手順》をご覧下さい。

スプールの分解方法

スプールを分解し内蔵のバネ位置を変えることにより、糸巻き形状を調整することができます。

右図のように付属のスプールレンチを使用してプッシュカラーをゆるめ、スプールを分解します。

(調整終了後は次ページ「スプールの組立手順」を参考に組み直してください。)

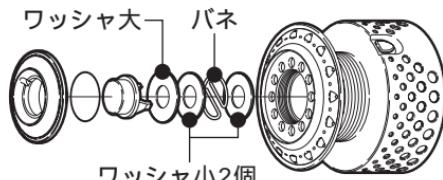
理想の糸巻き形状



上下にすき間がなく
糸巻き面が水平に近い

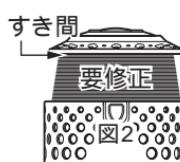
メーカー出荷時の標準設定

バネの位置がワッシャ小2個の中間にっています。



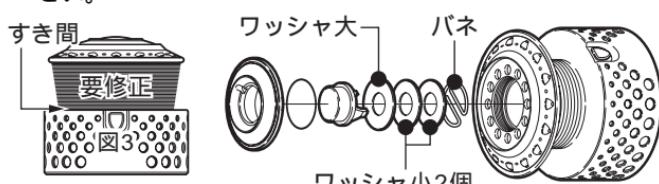
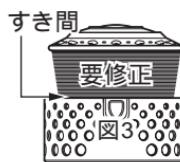
後ろよりの糸巻き形状を修正・図2を図1へ

バネの位置をワッシャ大とワッシャ小の中間ににして調整してください。



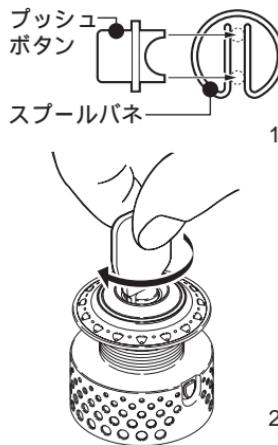
前よりの糸巻き形状を修正・図3を図1へ

バネの位置をワッシャ小2個の一番下にして調整してください。



スプールの組立手順

1. ブッシュボタンの先端突起部2つをスプールバネの図の位置にセットし、ブッシュボタンを押して弾力があるか確認してからブッシュカラーを組み付けて下さい。
2. スプールレンチで締めしてください。

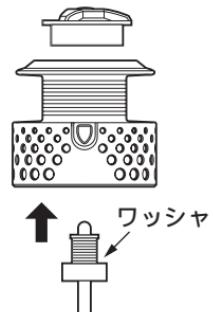


《ドラグ付きの4000Dの手順》

ドラグツマミをゆるめて、スプールを外してください。

ワッシャの増減により、糸巻き形状を調整することができます。

メーカー出荷時は、スプールワッシャが3枚装着されており、付属の調整ワッシャは0.5mmが2枚、0.25mmが2枚です。



理想とする糸巻形状 図1

糸巻量表示で150mぴったり巻ける太さのラインを巻いた場合、この状態になるよう設計されています。スプールワッシャ3枚装着が標準です。

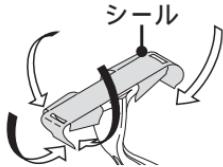
後ろよりの糸巻き形状を修正・図2を図1へ
スプールワッシャ3枚からワッシャを抜いてください。

前よりの糸巻き形状を修正・図3を図1へ
スプールワッシャ3枚にワッシャを追加してください。



リール脚裏保護シールの使用方法

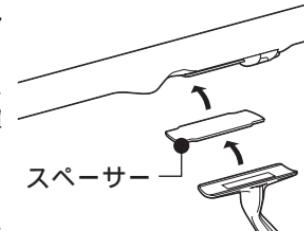
BB-X TECHNIUM Mgシリーズを装着する竿のリールシートが金属製の場合、付属のリール脚裏保護シールを装着していただくことをおすすめします。リールシートとの干渉による特殊表面処理層の損傷を和らげ、耐蝕性を維持する効果があります。



リールシートスペーサー

BB-Xは、竿によってはリールシートに取り付けた時に多少ガタが出る場合や、レバーがロッドに当たって充分なブレーキ力を発揮できないことがあります。

その場合には付属スペーサーを、リールシートとリール脚部の間にはさみ込んで使用してください。（リールシートスペーサーは、出荷時にプロテクトバッグに2枚入れてあります。）



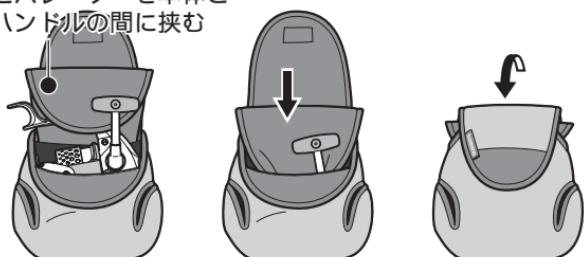
リール袋の使用方法

サイドのスリットからハンドルを差し出しますと、折りたたまに収納できます。

(右図)ハンドルをたたんで収納する場合には、内蔵のセパレーターを本体とハンドルの間に挟みますと、本体のハンドルによる不用意な傷付きを防ぐ事ができます。(下図)

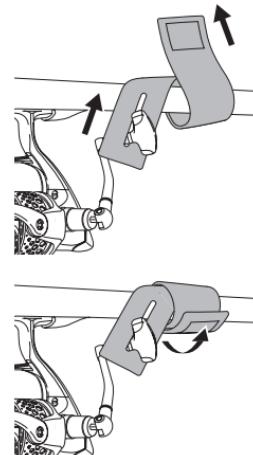


セパレーターを本体と
ハンドルの間に挟む



ワンタッチハンドル固定ベルト

テクニウム4000、5000のハンドルはねじ込み方式ですので、折りたたむ時はハンドルを逆転して折りたたむもらいますが、ロッドに取り付けて移動する場合(リール袋を使用しない場合)はロッドケースの中で、ハンドルがぶらついてしまう恐れがあります。そのような時には付属のワンタッチハンドル固定ベルトを図のように取り付けてください。ハンドルのぶらつきを抑えて、リール本体への傷やハンドルの落下を防ぎます。不要な際には、竿に巻きつけておきますと、使用の際にすぐに使えるので便利です。



保管上のご注意 / メンテナンスの方法（オイルインジェクションで簡単・安心）

保管上のご注意

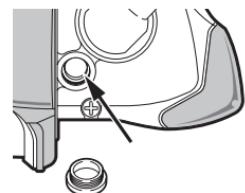
海でのご使用の後は、右記「海での使用後の基本的なメンテナンスの方法」で塩分を取り除き、良く乾燥させて保管ください。保管の際は必ず竿から取り外してください。

高温多湿で閉ざされた空間（自動車のトランク、ボートのストレージなど）に放置されると、特にマグネシウム部品の耐蝕性を維持できなくなる恐れがあります。よく乾かして風通しの良い場所に保管してください。

マグネシウム製の部品は特殊表面処理の被膜で耐蝕性を保っています。硬い物とぶつけたり、こすり付けることで傷が付き被膜が破れますと、耐蝕性が維持できなくなりますので充分にご注意願います。

リールが水没し、リール内部に浸水した場合のメンテナンス

万が一、リールが海水に水没してしまいリール内部に海水が侵入した場合は、釣具店を通じて弊社アフターサービスへオーバーホールの依頼をしてください。また、水洗い等で真水が侵入した際には下記の手順で水を抜くようにしてください。



図のようにオイルインジェクションのキャップを外し、その部分が下になるようにして水を抜き、十分に乾燥させた後シマノ純正リールグリスプレー（リールメンテナンスグリススプレーSP-023A）を注入して下さい。

注意 取付ネジは締付け過ぎないように注意して下さい。
(締付トルク9.8 ~ 19.6N/cm、1 ~ 2kg/cmが適当です。)

[次ページへ続く]

海での使用後の基本的なメンテナンスの方法 (オイルインジェクションで簡単・安心)

通常、海での使用後は 1. 2. の水洗いと乾燥だけで十分です。およそ5回の使用に1回、また次のご使用までに1ヶ月以上の期間があく場合は、3. の注油を併用するとより効果的です。オイルインジェクションの採用で、リール内部へのオイル補給も容易です。

1. 水洗い...シャワー等の真水で水洗いしてください。リールに付着した塩分、汚れを洗い流します。 右図



温水はグリスを洗い流す可能性があるのでお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せない事がしばしばあります。

2. 乾燥...しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干してください。 図A

直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。水を切り、乾燥させる際にオイルインジェクションのキャップを外しておくとより効果的です。 図B

外したキャップは無くさないよう注意してください。

3. グリス、オイル噴霧...グリス噴霧箇所とオイル噴霧箇所は図C を参照していただき、間違えないように噴霧して下さい。グリス、オイルはシマノ純正品(別売・下記)をお使い下さい。

リールグリスプレーとリールオイルスプレーの2本セット

シマノ純正リールメンテスプレー (SP-003H)

単品でご購入される場合

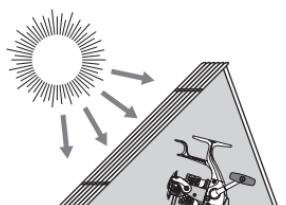
シマノ純正リールオイルスプレー (SP-013A)

シマノ純正リールグリススプレー (SP-023A)

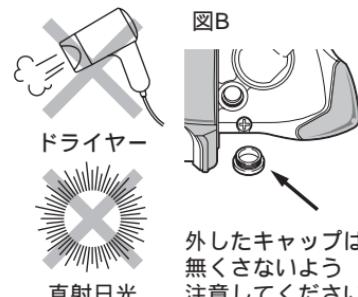
いずれも小売店にてご注文ください。

注油の際は、オイル、グリスが飛び散り周囲を汚すことがあります。換気の良い場所で注意して行ってください。

図A



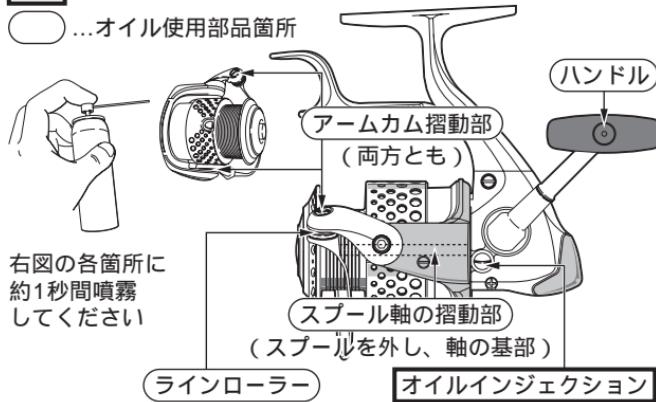
図B



外したキャップは無くさないよう注意してください。

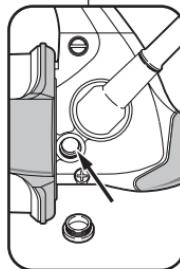
図C

- [] ...グリス使用部品箇所
[] ...オイル使用部品箇所



右図の各箇所に
約1秒間噴霧
してください

オイルインジェクションへの噴霧は...
マイナスドライバーでキャップを外し、
グリススプレーを注入して下さい。(右図)
1回の注入は約1秒までの噴射が適当です。
注入しすぎるとあふれたグリスで衣服等を汚すおそれがあります。
グリススプレーの注入が終わりましたらオイルインジェクションのキャップは必ず装着して下さい。



お願い

グリス、オイル類はシマノ純正品（別売）をお使いください。
そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご留意ください。

注意 (4000Dのみ)

ドラグ部のお手入れには、リールドラグ部専用グリス(DG01)をご使用ください。

リールドラグ部専用グリス (DG01)

お取り寄せは最寄りの販売店へご注文ください。

BB-X TECHNIUM Mg リールのお取扱い上のご注意

BB-Xリールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

ご使用上の注意

BB-Xリールを使用する竿に取付けてみて、不具合がないか、まず確認してください。

根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。

BB-Xリールは丁寧に扱ってください。移動時、特に磯渡しの時の放り投げや、バッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

砂浜、磯の上で竿を立てるとき、石突きを強く打ち込むとショックでリールの脚部が折れことがありますので、必ずゆっくりと竿を立ててください。

砂や水などの侵入を大幅に減少させるシール部品を随所に採用していますが、防水構造ではありません。

水中でのご使用、およびお手入れには対応していませんので、水没させないように注意して下さい。（万が一リールが水没し内部に浸水した場合15～17ページ「メンテナンスの方法」を参照）また、むやみに分解されるとシール部品が破損したり、その性能を損なう可能性がありますので充分ご注意ください。

セーフティースッパーをONにした状態で、ハンドルを無理に逆転しないでください。ギヤに大きな負担がかかり、トラブル

の原因になります。

高温、高湿の状態で長時間放置されると、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存をされる場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存されるようにしてください。ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。

ご使用後、濡れたまま湿度の高い状態の密閉された空間（自動車のトランク・バスポートのストレージなど）に放置されると本体部分が腐食する恐れがあります。

よく乾かしてから風通しの良い場所に保管してください。

本体の塗装面に傷をつけないようご注意下さい。傷の部分から腐食する恐れがあります。

お願ひ

リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。できましたら一年に一度は点検のためお預け頂くことをお薦めいたします。最寄りの小売店にてお受けしております。

ご案内

逆転可能の状態で正回転方向に回したハンドルを急に止めたときに「コツッ」という音がしますが、このタイプのリールの構造上、必要とする作動音で異常ではありません。

お手入れの方法

各部に付着したゴミ、砂などは15～17ページ「メンテナンス

「方法」にしたがって、お手入れをして下さい。軽い汚れの場合は、真水に浸した柔らかい布で、きれいに拭き取って十分乾燥させて下さい。又、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

グリス、オイル類はシマノ純正品（別売）をお使い下さい。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご留意ください。

*リールグリスプレーとリールオイルスプレーの2本セット

シマノ純正リールメンテスプレー（SP-003H）

*単品でご購入される場合

シマノ純正リールオイルスプレー（SP-013A）

シマノ純正リールグリスプレー（SP-023A）

いずれも小売店にてご注文ください。

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては図の中に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は図をご覧いただき、製品名と製品コードをお知らせください。

例 / 製品名：ステラ1000S 製品コード：SC96B012

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

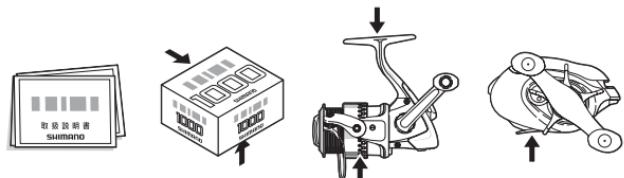
修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストッパーが動かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社（フリーダイヤル）へお問い合わせください。修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。

ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、ご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお薦めします。

例 / 製品名：ステラ1000S 商品コード：01840

製品コード：SC96B012 部品番号：2 部品名：スプール
商品コード/製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上5ヶタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 注意



キャスティング（投げる）の時は、ベールを起こすことを忘れないでください。仕掛けが切れたり、思わぬ方向にとんで、周囲の人にはけがをさせるおそれがあります。

キャスティング（投げる）の時、ストッパーのある機種では、ストッパーをONにして投げてください。OFFにして投げると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。

ストッパーのある機種では、ストッパーをOFFにして釣っていると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをするおそれがあります。糸が勢いよく出ている時は、糸にふれないでください。糸で指を切るおそれがあります。



回転しているハンドル、ローター等には、触れないでください。けがをするおそれがあります。

レバーブレーキ付きリールでは、レバーを操作する時、指を伸ばすと回転しているローターに当たりけがをするおそれがあります。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 北海道営業所

〒001-0925 札幌市北区新川5条1-3-50

TEL.(011)716-3301

株式会社シマノ 仙台営業所

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10

TEL.(022)232-4775

株式会社シマノ 埼玉営業所

〒362-0043 埼玉県上尾市西宮下3-194-1

TEL.(048)772-6662

株式会社シマノ 東京営業所

〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17

TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 千葉営業所

〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11

TEL.(043)433-1780

株式会社シマノ 静岡営業所

〒410-0807 静岡県沼津市鎌田674

TEL.(055)962-3983

株式会社シマノ 名古屋営業所

〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21

TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所

〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3-77

TEL.(072)223-3920

株式会社シマノ 中国営業所

〒700-0941 岡山市青江6-6-18

TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 四国営業所

〒768-0014 香川県観音寺市浜岡町1496-1

TEL.(0875)23-2220

株式会社シマノ 九州営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字琴桜4-6

TEL.(0942)83-1515

シマノ臨海株式会社 釣具サービス課

〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町1-5-15

TEL.(072)243-2851

株式会社シマノ釣具事業部

本社：〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

商品の性能、スペック、カタログ、イベントや、商品の修理、パーツなど
アフターサービスに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎ 0120-861130 (ハローイイサオ)

受付時間：AM9:00～12:00・PM1:00～5:00 (土・日・祝祭日除く)

シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.com> です。

シマノならではのオリジナル情報を発信しています。また、カタログの
お申し込みも受け付けています。

Printed in Japan (060417) [033]

SHIMANO